

平成 29 年度 ESD 活動支援センター活動状況概要（案）

表 1 ESD 推進ネットワーク及び ESD 活動支援センター（全国・地方）の平成 31 年度に向けた展望

2030 年における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、全国センターは地方センター・地域 ESD 拠点と連携して、地域レベル、広域レベル、全国レベルといった重層的なネットワークを形成し、地域における情報共有と学びあい、連携・協働を進め、学校や地域、職場等あらゆる場における ESD の普及、深化に向けた支援に取り組んでいく。当面の目標年である 2019 年度（平成 31 年度）に向けた ESD 推進ネットワークのロードマップを表 1 に示す。

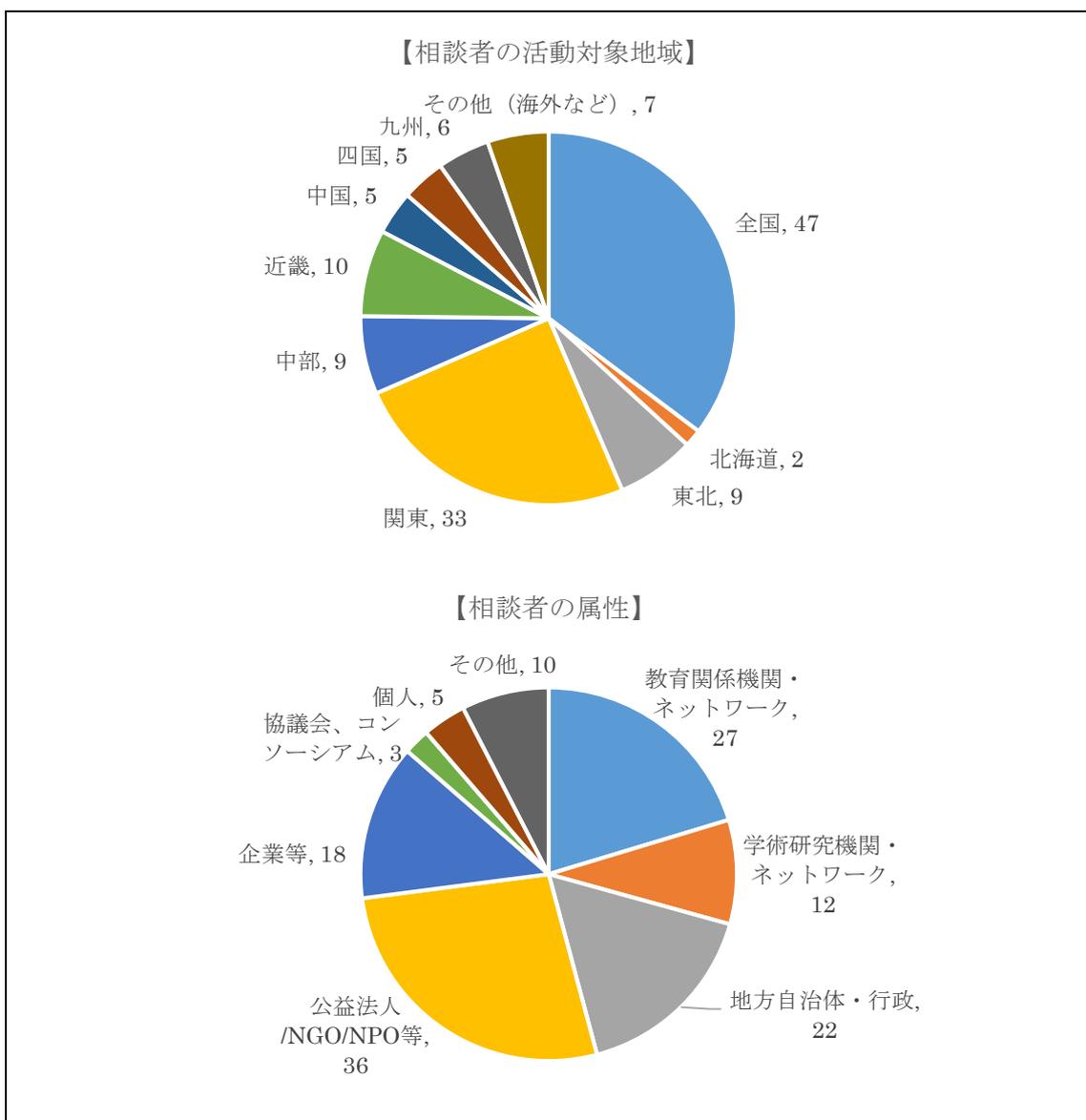
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
基本的考え方	ネットワークの準備	全国センター立ち上げ	地方センター立ち上げ	地域ESD拠点推進	ネットワーク本格稼働
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークの概念整理（文書） ESD推進ネットワークの構築に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援ネットワークの中期目標合意 ● 支援ネットワークの立ち上げ方針策定 2. ESD活動支援企画運営委員会の設置・開催（文書） ESD推進ネットワークの構築に向けて解説資料（文書） ESD推進ネットワークの目標等（文書） 地域ESD活動推進拠点の登録について（案） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークの稼働開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ESD拠点の整備推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークのチューニング
全国センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国センター立ち上げ準備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国センター立ち上げ ● 情報インフラの確立 1. ESD活動に関する相談・支援窓口 3. 地方センター設置準備のための意見交換会の開催 4(1) ESD活動支援に係るパンフレットの作成 4(2) ESD活動支援センター公式webサイトの運用等 4(3) 若者世代による情報発信 5(1) ESD活動支援センターオープニング・イベントの開催 5(2) ESD推進ネットワーク全国フォーラムの開催 5(3) 地域ESD活動拠点の形成支援 6. ESDネットワーク形成に係る可視化ツール等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国センター機能の充実 <input type="checkbox"/> 地方センター立ち上げに向けた連絡調整 <input type="checkbox"/> ESD関係全国組織との連携強化 <input type="checkbox"/> パンフレット改訂 <input type="checkbox"/> ウェブサイト充実、SNS活用促進 <input type="checkbox"/> ユースERDレポーター継続 <input type="checkbox"/> その他 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国センター機能の一層の充実 <input type="checkbox"/> 地方センター支援、地方センターとの連携強化 <input type="checkbox"/> ESD関係全国組織との連携・協働、地方へのメッセージ <input type="checkbox"/> 地域ESD拠点整備の支援 <input type="checkbox"/> ウェブサイト充実 <input type="checkbox"/> 人材育成、若者戦略等の検討・推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークの稼働状況の確認と改善 <input type="checkbox"/> 地方センターと連携してのネットワークのパフォーマンス評価、改善検討 <input type="checkbox"/> 地方センターとの連携強化 <input type="checkbox"/> 地域ESD拠点整備の支援
地方センター		<ul style="list-style-type: none"> ● 地方センター立ち上げ 準備 <p><環境省地方環境事務所> <input type="checkbox"/> 地方センター設立準備委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方センター立ち上げ <input type="checkbox"/> 全国センターとの諸々の調整（連絡会を含む） <input type="checkbox"/> 地域ESD拠点の登録に向けた準備と登録開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方センターの機能強化 <input type="checkbox"/> 全国センターとの連携強化に向けた調整（継続） <input type="checkbox"/> 地域ESD拠点の登録、活動推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークの稼働状況の確認と改善 <input type="checkbox"/> 地域ESD拠点の登録、活動推進 <input type="checkbox"/> 全国センターと連携してのネットワークのパフォーマンス評価、改善検討

1. ESD 活動に関する相談・支援窓口

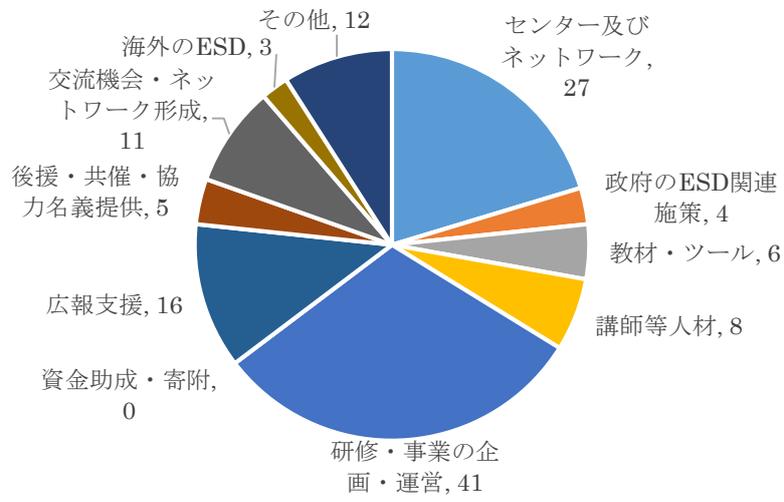
開館日	月曜日から金曜日 (土・日曜日・祝日、12月29日から1月3日は閉館)
開館時間	10時から18時

ESD 活動を実践するに当たっての相談や支援の要請を電話及びメール、訪問等で受け付け、特定地域に関する事項等については、地方 ESD 活動支援センターと情報を共有し、連絡調整しつつ、対応を行った。

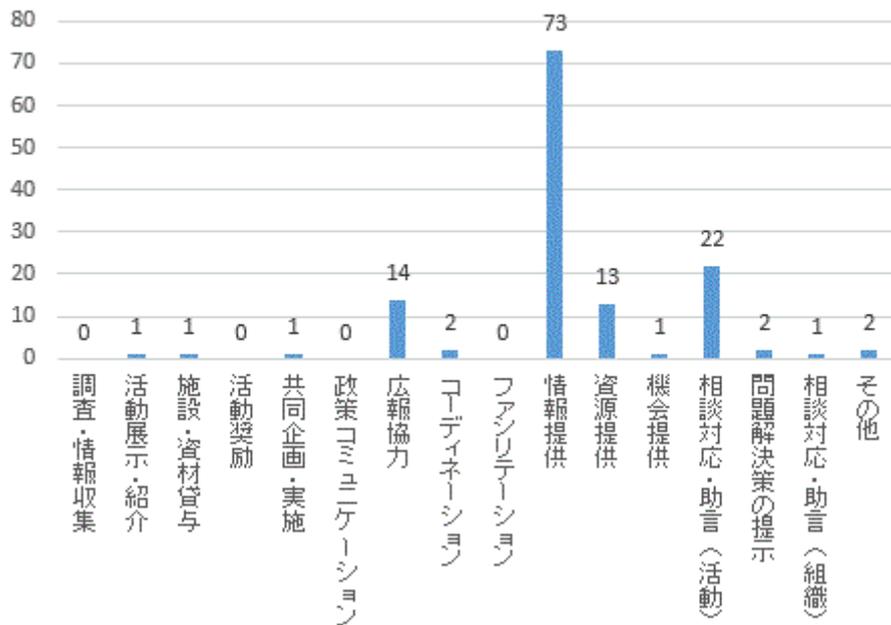
【相談件数】 133 件 (平成 30 年 1 月末現在)



【相談の内容】



【支援の内容】



2. ESD 活動支援企画運営委員会の設置・開催

■平成 29 年度における業務項目

①ESD 活動支援企画運営委員会を 2 回程度開催（連絡調整、会場手配・設営、事務手続き、資料作成・印刷、旅費・謝金支給含む）

■ESD 推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

目標 2 総合的な ESD 活動支援方策の検討や、その実現に向けた全国センターへの指導・助言を行うための体制を整備する。

(1) 第 1 回 ESD 活動支援企画運営委員会

日時：平成 29 年 6 月 13 日（火）15：00-17：00

会場：スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズフロント店 6 階 A 会議室
東京都港区虎ノ門 1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル 6 階

議題

1. 平成 28 年度 ESD 活動支援センター事業報告について
2. 平成 29 年度 ESD 活動支援センター主要事業企画案について
 - ・ 全国フォーラム企画について
 - ・ 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）形成について
3. ESD 推進ネットワークの達成目標について（討議事項）
4. その他

(2) 第 2 回 ESD 活動支援企画運営委員会

日時：平成 30 年 2 月 20 日（火）10：00-12：00

会場：青山ブックセンター本店会議室
東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山ガーデンフロア（B2F）

議題（案）

- ・ 議題については、今後委員長と詰めることになるが、基本的には以下の通りと想定。
1. 平成 29 年度 ESD 活動支援センター事業報告について
 2. 平成 30 年度 ESD 活動支援センター主要事業企画案について
 3. ESD 推進ネットワークの達成目標について
 4. その他

3. 地方センター設置準備のための意見交換会の開催

■平成 29 年度における業務項目

①連絡会を 3 回程度開催（連絡調整、会場手配・設営、事務手続き、資料作成・印刷、旅費支給含む）

■ESD 推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

「目標 2 現場のニーズを反映した ESD 活動の支援体制を整備する。（支援体制）」における ESD 活動支援センター（全国・地方）にとって、その他の目標に関わるすべての事業、業務についての、全国センターと地方センターの実務上の連絡、調整、検討を行うため、年間を通じて、連絡調整、資料作成等を行う。

(1) 第 1 回 ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会

日時：平成 29 年 4 月 26 日（水）14:00-17:00

会場：GEOC セミナースペース

（東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 1F）

議事次第

経過報告事項

- (1) 平成 28 年度確定文書
- (2) 地方センター設置準備状況等
- (3) 平成 29 年度全国センター年間スケジュール
- (4) ESD 活動支援センター（全国・地方）連携マニュアルについて
- (5) 地方センターのウェブサイト、ロゴマーク等の情報基盤
- (6) 環境省、全国センター等による関係者への説明資料

協議事項

- (1) 広域ブロックにおけるネットワーク形成方策について
 - ・ 関係者への説明用資料について
 - ・ ESD 推進ネットワークの成果目標と指標、成果の可視化との関係についての考え方について
 - ・ 地域 ESD 拠点の登録に向けた考え方について
- (2) 情報発信基盤について

その他

(2) 第 2 回 ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会

日時：平成 29 年 10 月 10 日（水）10:00-17:45

会場：日能研ビル 6 階 セミナースペース

（東京都荒川区西日暮里 5-8-35 日能研ビル）

議事次第

報告事項

(1) 地方 ESD 活動支援センター活動状況・事業計画共有

- ① 地方センターによる事業計画共有
- ② 情報交換

協議事項

(1) ESD 推進ネットワークの達成目標と指標・データの枠組みについて

(2) ネットワーク戦略について

- ① 全国フォーラムについて
- ② 後援名義・ロゴマークについて
- ③ 地方センターウェブサイトについて
- ④ 全国センターからの情報発信等について

(3) 地域 ESD 拠点関係について

- ① 登録事務について
- ② 年次アンケート等について

(4) 達成目標、指標、データについて

(5) その他

(3) 第 3 回 ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会

日時：平成 30 年 1 月 17 日（水）10:00-17:00

会場：GEOC セミナースペース

（東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 1F）

議事次第

報告事項

議題 1 ESD 活動支援センター活動状況（全国・地方）

（全国フォーラム報告を含む）

議題 2 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録状況について

議題 3 後援名義使用承認等の状況

協議事項

議題 4 ESD ネットワーク戦略について

- ① 文部科学省「グローバル人材の育成に向けた ESD の推進事業」について
- ② ESD 推進ネットワークの達成目標等について
- ③ ESD 拠点年次アンケートについて
- ④ ESD 推進ネットワーク可視化について（地方）

議題 5 今後の地域 ESD 拠点の登録について（課題の共有と対応策）

議題 6 ESD 活動支援センター平成 30 年度事業の概要案について

議題 7 ESD 活動支援センター（全国・地方）連携について

議題 8 その他

4. ESD 活動に関する国内外の情報等の収集及び一元的な発信等

(1) ESD 活動支援に係るリーフレット作成

■平成 29 年度における業務項目

- ①平成 28 年度作成のリーフレットを必要に応じて改訂・印刷（40,000 部程度）
- ②地方センターへの配布（各 3,000 部程度）
- ③全国センターによる活用

■ESD 推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

特段の記載はないが、ESD 推進ネットワークおよび ESD 活動支援センター（特に全国センター）の活動を周知するための基本的な資料として、「目標 1 ESD 活動を支援するために有益な情報の収集、整理、蓄積、共有を進める（情報）」の一環であるとともに、その他の目標に資する活動で幅広く活用する。

地方 ESD 活動支援センターの開設、地域 ESD 拠点の登録開始、SDGs の普及等の観点から、平成 28 年度パンフレットを改訂し、判型を変更して（A4 の 1/3 仕上がり観音開き、両面カラー）40,000 部作成し、各地方センターに 3,000 部配布した（平成 29 年 6 月）。その後、地方 ESD 活動支援センターには合計 1,500 部追加送付した。

全国センターとしては、関連催事、後援催事等の参加者、相談対応者等への配布を継続している。

(2) ESD 活動支援センター公式ウェブサイトの運用等

■平成 29 年度における業務項目

- ①平成 28 年度に続き運用等を行う。

*今年度は、8 つの地方センターウェブサイト運用の基盤を整え、うち 5 つの地方センターウェブサイトの開設・運用を担当している。

■ESD 推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

目標 1 ESD 活動を支援するために有益な情報の収集、整理、蓄積、共有を進める（情報）

■成果目標①ESD 活動支援センター（全国・地方）が収集、整理、蓄積、共有する情報が ESD を深めるために（質的向上）、また広げるために（量的拡大）、有用なものになっている。

評価指標 利用者にとって情報は役立っているか。

上記に対して、ウェブサイトによる情報発信は最重要の活動と位置づけられる。

Web サイトについては、平成 27 年度に情報設計等の立ち上げ準備を行い、平成 28 年 4 月 22 日の全国センター開設に合わせて公開した。同年 9 月に SNS (Facebook と Twitter) を開始した。

開設以来「仲間を増やす Web サイト、仲間の力を付ける Web サイト」として、他の Web サイトへの有効なポータル（入り口）として機能するコンテンツ作りに努めている。また、SNS 等と連動して情報を一元的に発信し、ESD の魅力を伝える、ESD 関係者を増やすツールを目指している。

目指している“役割”

1. ESD を実践する方に役立つ情報を発信することによる、ESD の活性化
2. 「ESD」のフレーズを用いている情報の一元化、整理、蓄積と発信
3. 「ESD」のフレーズを用いていない「ESD」に関する情報の洗い出しと統合

平成 29 年においては、主に以下の運用を行った。

①既存コンテンツの更新・充実

②新コンテンツ

- ・地方 ESD 活動支援センター
- ・地域 ESD 拠点

③地方 ESD 活動支援センター開設に伴い、以下を含む情報基盤の設計及び運用

- ・全国・地方 ESD 活動支援センター 共通サーバーの運用
- ・各地方 ESD 活動支援センターウェブサイトの統一デザインフレームワーク及び必須コンテンツ設定及び個別デザインの調整・運用
- ・更新の仕組みの構築：マニュアル、統一フォーマット等（直接更新を行うのは 3 つの地方センター、全国センターによる更新は 5 つの地方センター：北海道、東北、近畿、中国、四国）
- ・アクセス数カウントシステムの導入・運用

全国センター掲載記事情報

266 件（平成 29 年 4 月～12 月末現在）

アクセス数

ウェブサイトトップページアクセス数：10,242 回（平成 29 年 4 月～12 月末現在）

SNS データ

・ Facebook ページ

いいね数：341 フォロワー：360（平成 29 年 12 月末現在）

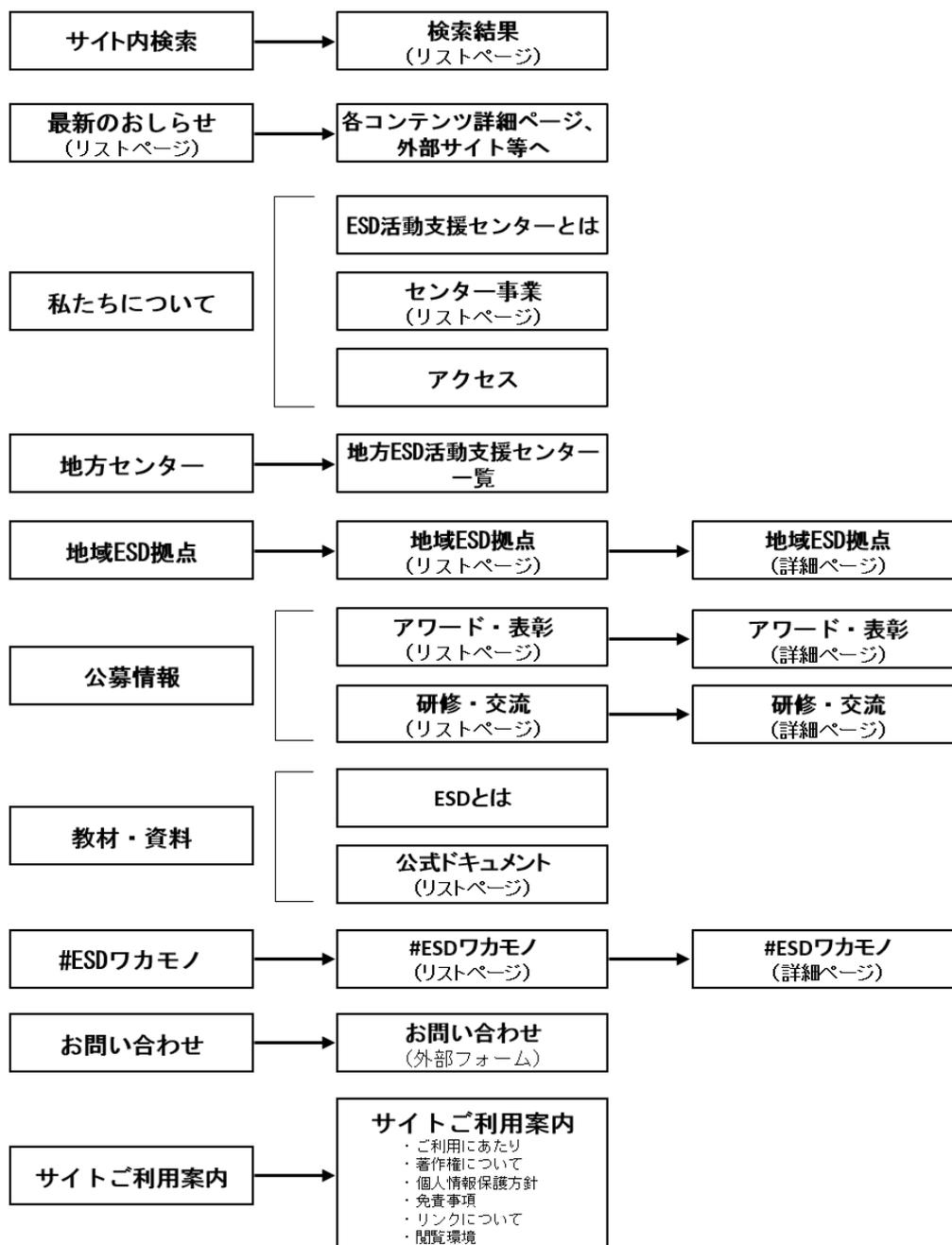
・ Twitter

フォロワー数：54（平成 29 年 12 月末現在）

Web サイト構造図

■ウェブサイトの構成・構造図■ (20180206現在)

トップページ



矢印 …ページ移動

リストページ…タイトル、リンクURL、簡単な導入文をリスト形式で掲載したページ

詳細ページ…タイトル、リンクURL、詳しい文章、画像等を掲載したページ

(3) 若者世代による情報発信

■平成 29 年度における業務項目

- ①平成 28 年度に選考したユースによるレポーター活動を継続して実施（レポート添削、ウェブサイト発信、旅費支給含む）

■ESD 推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

目標 4 多様な分野・セクターに ESD を推進する多世代の人材を育成、活動の場を広げ、その内容をウェブなどで広める。

ESD の活動に若者（以下「ユース」という）の参加を促し、若者世代の ESD リーダーを育成するために、ユース（年齢 18 歳から 35 歳までの若者を対象（社会人を想定））が自分の地域における ESD の取組に触れ、自らの視点で地域の課題や課題を解決するための ESD の実践事例をヒアリングし、全国センターの Web サイトで報告する仕組みを、平成 28 年度に構築し、公募の結果、全国 7 ブロックから合計 9 名のレポーターを委嘱した。研修を行い、全国フォーラムで参加者に紹介した。

今年度は、個人的な理由で辞退した 1 名を除き、昨年度のレポーターに継続して委嘱した。全国センターは取材先について、レポーターとの連絡調整を行うほか、ヒアリング内容とその取りまとめについて必要な助言を行った。

5. ESD 推進ネットワークの構築

(1) ESD 推進ネットワーク全国フォーラムの開催

■平成 29 年度における業務項目

- ①プログラムの作成、ファシリテーターを含む登壇者の決定
- ②会場手配・設営
- ③ポスター制作、配布

■ESD 推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

目標 3 ESD 実践の学び合いを可能とする重層的なネットワークを形成する。
（ネットワーク形成・学び合いの場）

成果目標⑤多様な分野で ESD の認知度が向上し、また理解が進み、多様なステークホルダーの間で経験の共有、ESD 推進の協働・連携の関係性が形成・促進されるような学びの場が持たれている。

全国フォーラムは、原則的に毎年 1 回、ESD の多様な主体が連携・協働していくために、ネットワークの主たるステークホルダーが一堂に集い、ネットワーク形成の状況を共有するとともに、ネットワークが成長するための機会として開催していくものである。

初回となる今年度の全国フォーラムは、多分野の多様な組織・団体の代表及び個人が、持続可能な社会の構築に向かう全体像を俯瞰するなかで自らの立ち位置を確認し、協働の基盤を作る機会として企画した。

立教大学 ESD 研究所と共催とし、会場の提供、広報協力及び人的協力を得た。

開催目的：

- ESD 推進ネットワークと ESD 活動支援センター、地方 ESD 活動支援センターおよび地域における ESD 活動の支援窓口となる地域 ESD 活動推進拠点に関する理解を広める。
- 分野、セクターを超えて多様な主体が連携・協働して ESD を推進（質的向上・量的拡大）するために、お互いに面識をつくり、地域を越えて実践例をもとに学び合い、ESD 推進方策について意見交換を行う機会をつくる。
- SDGs 達成に向けた意識・行動変革を進める ESD という意識の共有をすすめる。

参加者募集は Web サイトで行うとともに、ポスター（A1、カラー、500 部）を作成し、主要な ESD 関係者に郵送・配布したうえで周知の協力を得た。当日は、全国各地から、ユネスコスクールを含む教育機関、メディア、企業、公益法人、NGO/NPO、地方自治体、個人（学生含む）を含むのべ 260 名（主催団体関係者含む）の参加者を得た。

- 主催 ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省
- 共催 立教大学 ESD 研究所
- 日時 平成 29 年 11 月 24 日（金）13:00-18:00、25 日（土）9:30-13:00
- 会場 立教大学 池袋キャンパス 太刀川記念館（全体会）、5 号館（分科会）
東京都豊島区西池袋 3-34-1
- 参加費 無料
- 参加者 のべ 260 名

<プログラム>

■11 月 24 日（金）

総合司会：認定 NPO 法人環境市民 下村委津子氏

12 時 30 分	受付開始	
13 時 00 分	開会挨拶	
13 時 15 分	ESD 活動支援センター／ 立教大学 ESD 研究所 文部科学省	阿部 治 センター長 川端和明 国際統括官
13 時 15 分	フォーラム導入	
13 時 25 分	ESD 推進ネットワークと ESD 活動支援センター（全国・地方） ESD 活動支援センター 柴尾智子 センター次長	
13 時 25 分	セッション I. 地域における ESD のさらなる展開に向けて：	
14 時 10 分	基調パネルディスカッション（110 分） 国連 ESD の 10 年を経た ESD の成果を受け、ESD 活動支援センター、ことに、今年開設された地方センターとの連携による活動の展開例や今後の ESD 推進（広める＋深める）のあり方などについて事例をもとに議論します。	ファシリテーター 及川幸彦氏 東京大学海洋アライアンス機構 主幹研究員日本ユネスコ国内委員会委員

	<p>1. 地方センターとの連携事例 <NPO> 福岡真理子氏 一般社団法人 あきた地球環境会議 理事・事務局員 (秋田市地球温暖化防止活動推進センター) <企業> 戸成司朗氏 住友理工株式会社 CSR 部長 <教育委員会> 安田昌則氏 大牟田市教育委員会教育長</p>
14時20分- 15時15分	<p>2. 登壇者同士の振り返り・フロアとの質疑応答、意見交換 福岡氏、戸成氏、安田氏、柴尾センター次長 3. 総括</p>
15時30分- 16時30分	<p>セッションⅡ. ESD 推進ネットワークと多様な活動事例 ポスター発表・情報交流セッション (60分) 全国レベルの ESD 推進組織および ESD 活動支援センター (全国、地方) の様々な ESD 活動についての情報共有・意見交換・交流の機会とします。</p> <p><参加団体> JICA 地球ひろば、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、日本ジオパークネットワーク、全国小中学校環境教育研究会、立教大学 ESD 研究所、日本 ESD 学会、特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J)、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) 及び ESD 活動支援センター (北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州及び全国センター)</p>
16時35分- 18時00分	<p>セッションⅢ. ESD 関連省庁施策と ESD 推進ネットワークへの期待 (85分) ESD 関係省庁から、ESD に関連する施策の紹介、また、ESD 推進ネットワークへの期待をうかがいます。</p> <p style="text-align: right;">ファシリテーター 佐藤真久氏 東京都市大学 大学院環境情報学研究科 教授</p> <p>文部科学省 国際統括官付国際戦略企画官 小林洋介氏 外務省 国際協力局地球環境課 首席事務官 滑川博愛氏 消費者庁 消費者教育・地方協力課長 尾原知明氏 環境省 大臣官房環境経済課環境教育推進室室長 永見 靖氏 ESD 活動支援センター 阿部 治 センター長 コメント フロアとの質疑応答</p>
18時00分	事務連絡
18時30分- 20時00分	<p>懇親会 (希望者のみ、会費 500 円) 場所：立教大学太刀川記念館ホール</p>

■11月25日(土)

総合司会：東京都市大学 伊藤通子氏

9時30分 -
11時15分

セッションⅣ. 分科会：地域ESD拠点の可能性(110分)

さまざまな地域課題や社会課題への取り組み、教育・学びの質の向上、SDGs達成に向けた意識・行動変革を進めるために、多様な地域ESD拠点によるESD推進の役割の可能性について、話題提供者の経験をもとに議論します。地域ESD拠点の活動のために、ESD活動支援センター(全国・地方)が果たすべき役割についても併せて考察するための機会とします。

分科会1) 森里川海と大人・子どもの学びをつなぐESD

ファシリテーター 辰野まどか氏
一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト
(GiFT) 代表理事

話題提供 ①公益財団法人 吉野川紀の川源流物語
森と水の源流館 事務局長 尾上忠大氏
②三嶺の森をまもるみんなの会(高知県) 押岡茂紀氏

分科会2) 公的施設との連携で展開するESD

ファシリテーター 小金澤孝昭氏
宮城教育大学教授

話題提供 ①公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団
江東区深川江戸資料館 小張洋子氏
②津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ所長
中平徹也氏

分科会3) 地域と学校をつなぐコーディネート機能を生かしたESD

ファシリテーター 大野 覚氏
認定NPO法人茨城NPOセンター・commons
事務局長・いばらき未来基金事務局担当

話題提供 ①板橋区成増小学校支援地域本部代表 白鳥円啓氏
②石狩市環境市民部環境保全課自然保護担当
兼任 石狩浜海浜植物保護センター 技師
高橋恵美氏

分科会4) 学校における持続可能なESDをめざして

ファシリテーター 石丸哲史氏
福岡教育大学教育学部教授

話題提供 ①伊豆市立天城中学校校長 日吉隆徳氏
②静岡大学 ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム
コーディネーター/元伊豆市立天城中学校 校長
大塚 明氏

11時30分-12時50分 **セッションV. 総括 (80分)**
各分科会の成果を共有し、今後のESD推進ネットワークのなかで、多様な地域ESD拠点が地域におけるESDの推進（広まりと深まり）に果たしうる役割、そのような役割を果たすために、今後地方ESD活動支援センターとどのような連携・支援が望まれるのか、全国センターの果たすべき役割等、全国フォーラム総括の意見交換を行います。

ファシリテーター 鈴木佑司氏
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟理事長

1. 分科会結果の発表
 2. 質疑応答・意見交換、全体討議
- 総括コメント

特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育推進会議
共同代表理事 重 政子氏

12時50分 **閉会挨拶**
環境省 総合環境政策統括官 中井徳太郎 総合環境政策統括官

13時00分 **閉会**

また、開会に先立ち、以下2種のESD実践見学コースを準備し、希望者の参加を得た。

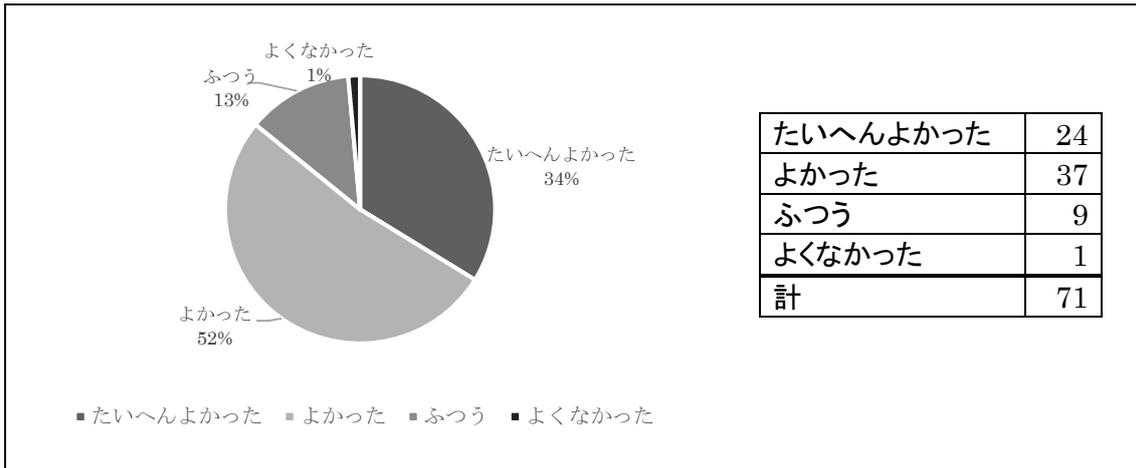
- Aコース：雑司が谷未来遺産まちあるき
9:50 集合、10:00-11:30 まちあるき（参加者9名）
- Bコース：江東区立八名川小学校（ユネスコスクール）
8:50 集合、9:00-11:00 見学（参加者11名）

<アンケート>

全国フォーラムの参加者に実施したアンケートより、次の集計結果を得た。

参加者のべ人数 260名
 参加者実数 176名
 アンケート回収 72枚
 回収率 40.9%

1. フォーラムの内容について



◆回答理由（抜粋）

「たいへんよかった」:

- 発表者の実践が興味深く、そのような組織が地域拠点となって ESD を推進・支援してくださることに期待が持てた。エクスカッションの雑司が谷でのお話もとても興味深かった
- 「つながり」を求めて参加させていただきましたが、まさに「つなが」ることができました

「よかった」:

- ESD 活動支援センターの活動状況を知ることができた。活動拠点登録制度について知ることができた。
- 4 省庁間シンポジウムが特に良かった NPO 団体、行政、企業、それぞれの取り組み、並びに関係省庁の代表者による取り組み姿勢をというトータルな ESD 実践の現状を学ぶことができた
- 各地の動きについて全体を知ることができた。プログラムが駆け足だったので、次回はもう少し詳しくじっくり聞いてみたいです。

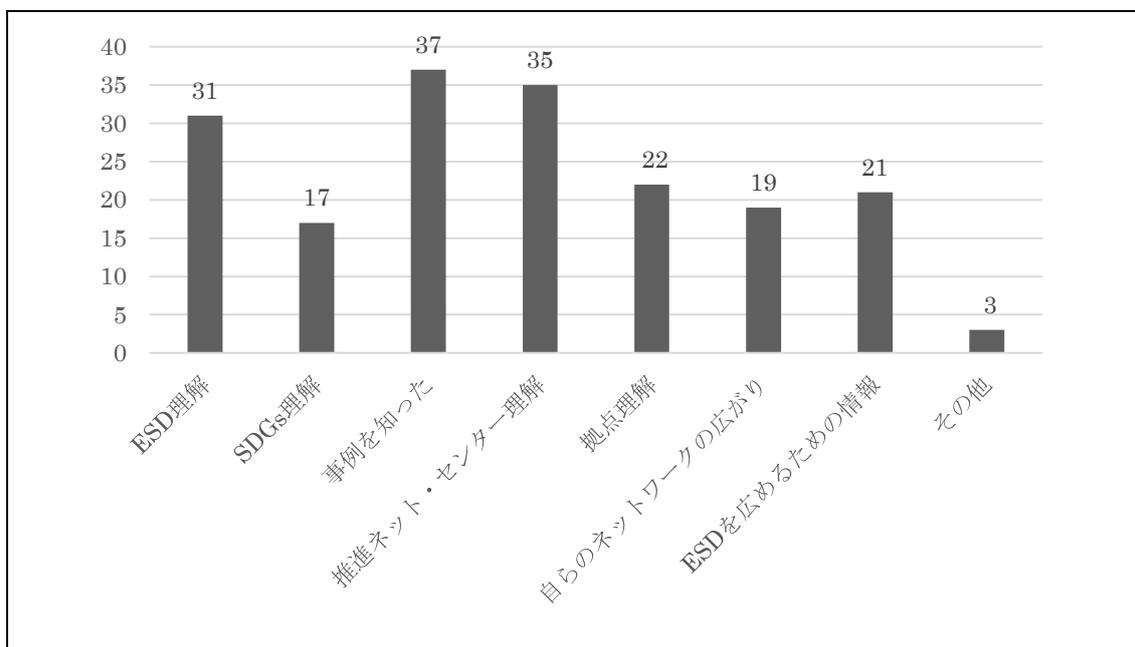
「ふつう」:

- 多様な ESD 活動の事例から新しい異なる視点からの展望がみえてきたが更に異なる分野との連携が不足であったか。

「よくなかった」:

- 4 省庁串ざしに…への各省庁の見解を引き出し切れていなかった。

2. 本日のフォーラム参加の成果について（複数回答可）



3. 今後の全国フォーラム及び ESD 活動支援センター（全国・地方）にどのようなことを期待しますか。（回答抜粋）

「全国フォーラムへの期待」:

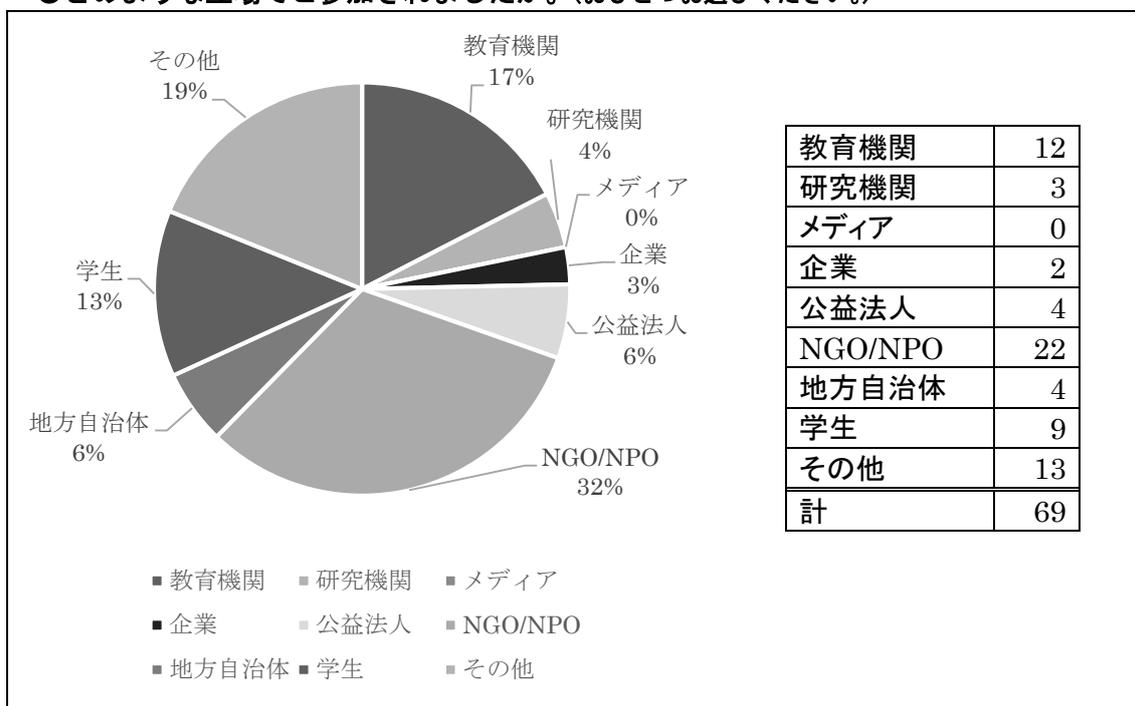
- 地方での開催もあると参加しやすい人もいると思います。
- これまでセンターとつながりが薄かった団体や行政の方が参加し、センターとは何かを知り、どう連携していきたいかを相互的に知ることの出来る全国フォーラムを期待します。
- ワークショップ的なものを追加するとどうでしょう。分科会とあわせて、希望なものを選択できると楽しいと思います。

「ESD 活動支援センターへの期待」:

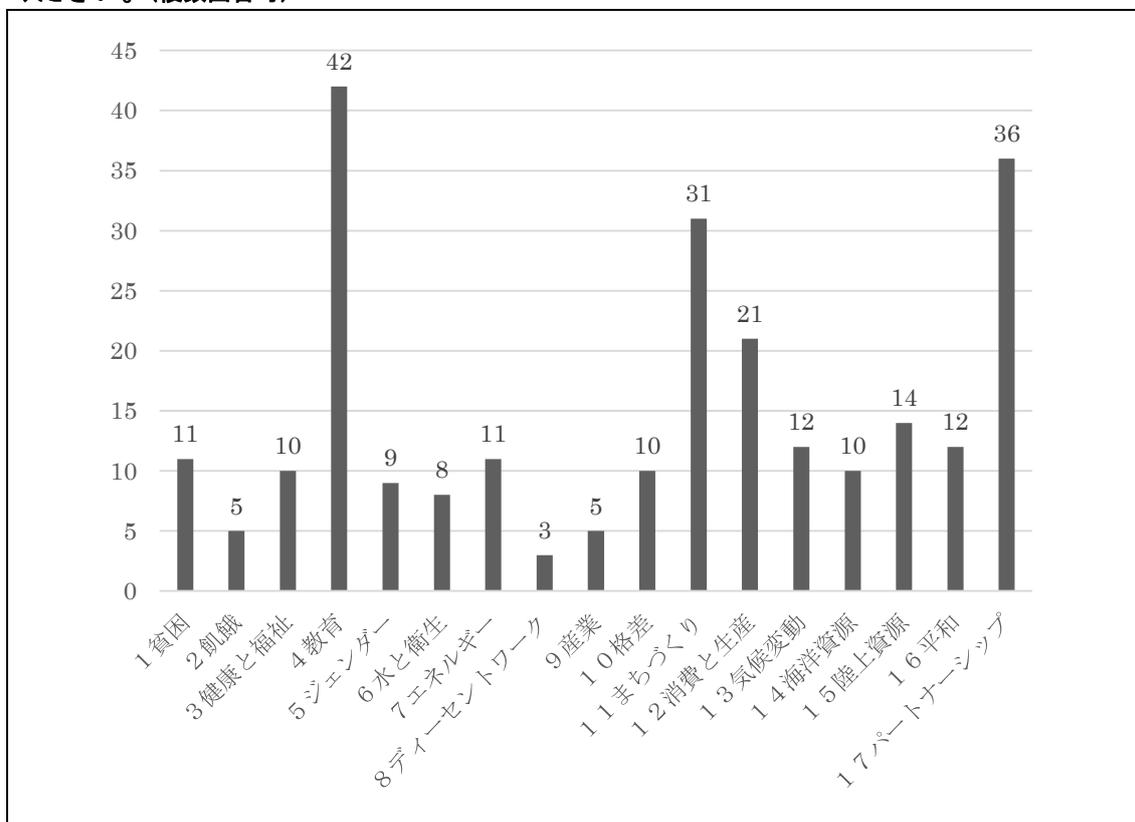
- 多様な地域拠点が増え、様々なテーマ、主体による ESD が展開されること
- ESD と消費者教育、食育、金融教育などとの連携し他の教育に ESD の組み込み
- ユネスコスクールを通しての学校の支援だけでなく市民に対する ESD 推進に期待します
- SDGs の潮流を上手に捉えて、是非、「企業」に対し、ESD の推進の大切さを知っていたく様情報を流して頂きたい。時代が大きく動くと思います。
- 民間セクターからの参画により安定的・長期的（持続的）に活動継続が可能となるスポンサー開拓の共通課題について成果を持ち寄れる機会となしてほしい。
- 国際的な視野で海外との活動連携を目指す試行錯誤の取組みについて忌憚のない意見・経験交換のクロスロードの一翼を担ってほしい。
- ESD 関連の人材バンク、実践事例バンクのようなものができると大変効果的であると感じました。
- ESD の推進に伴う諸課題について研究的な分析を行い、提案的な活動もおこなっていただきたい。
- 情報の発信に期待！！

4. ご自身について教えてください。

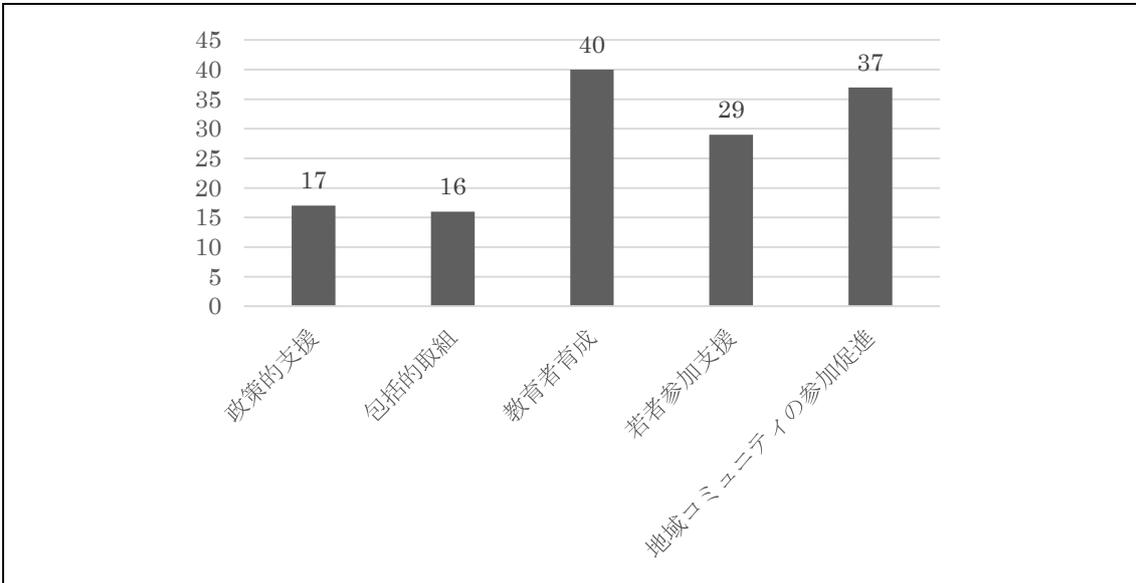
●どのような立場でご参加されましたか。(おひとつお選びください。)



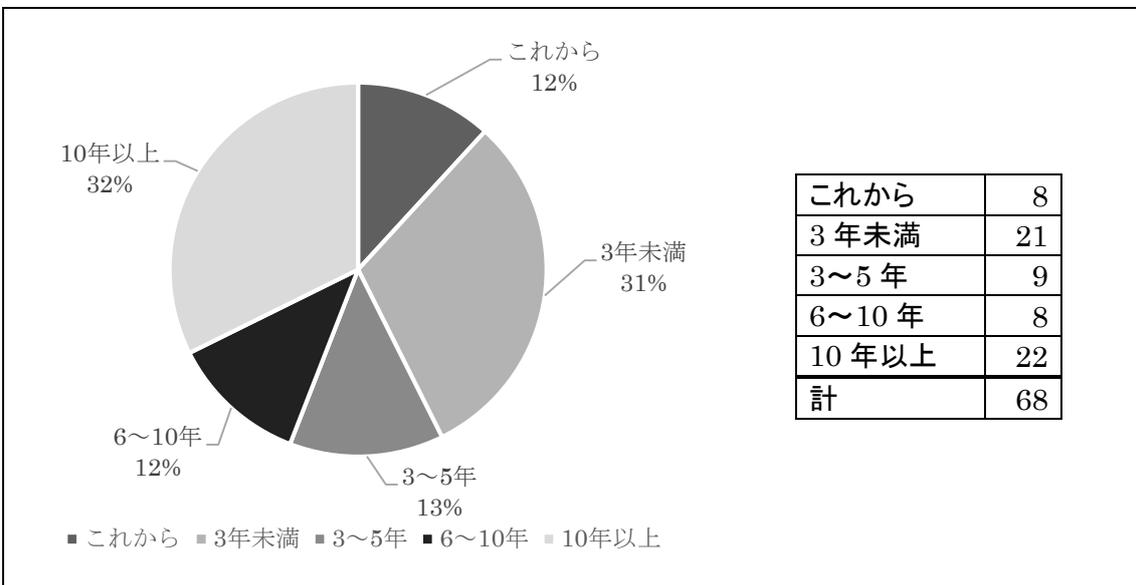
●取り組んでいる課題（テーマ）について、「持続可能な開発目標（SDGs）」からお選びください。(複数回答可)



●活動の重点はどこにありますか。(ESD に関するグローバル・アクション・プログラムに基づく。複数回答可)



●ESD への取り組みに何年くらい関わってこられましたか？(ESD という用語を使っているかどうかは問いません)



*国際フォーラムの開催

文部科学省からのご案内により、以下の国際フォーラムを急きょ企画・実施した。

「UNESCO マハトマ・ガンジー平和と持続可能な開発のための教育研究所（UNESCO MGIEP）が拓く ESD の新しい地平」

開催趣旨：

UNESCO マハトマ・ガンジー平和と持続可能な開発のための教育研究所（Mahatma Gandhi Institute of Education for Peace and Sustainable Development：UNESCO MGIEP）は、急速に発展しつつあるアジア太平洋地域における平和と持続可能な開発のための教育を推進するために、インド政府の支援を得てユネスコが設立した機関であり、若者プログラム、教育カリキュラム見直しプログラム、革新的な学びプログラムなどを実施している。

このたび、MGIEP 所長のアナンタ・デュライアパ博士（Dr. Anantha K Duraiappah）が来日する機会をとらえ、MGIEP が取り組む新しい教育アプローチなどについてお話を伺い、意見交換の場を設ける。

- 主催 ESD 活動支援センター、
UNESCO マハトマ・ガンジー平和と持続可能な開発のための教育研究所、
文部科学省、環境省
- 共催 東京大学教育学部附属学校教育高度化・効果検証センター
- 日時 平成 30 年 2 月 8 日（木）14:00-17:00
- 会場 東京大学弥生キャンパス弥生講堂・一条ホール
- 参加費 無料
- 使用言語 基本的に英語（一部日本語での補足あり）
- 参加者 42 名

<プログラム>

司会進行：ESD 活動支援センター 鈴木克徳 副センター長

14:00	開会挨拶	文部科学省 池原 充洋 文部科学戦略官 環境省 田代 浩一 環境教育推進室長補佐 ESD 活動支援センター 阿部 治 センター長
14:15	講演	アナンタ・デュライアパ UNESCO MGIEP 所長
15:15	討論	北村 友人氏 東京大学准教授 小澤 紀美子氏 日本 ESD 学会副会長 望月 要子氏 UNESCO MGIEP カリキュラムチーム長
	質疑応答	

(2) 地域 ESD 活動拠点の形成支援

■平成 29 年度における業務項目

- ① 共催・後援・職員派遣
- ② 地域 ESD 拠点登録業務
- ③ 地域 ESD 拠点への年次アンケート作成

■ESD 推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

目標 3 ESD 実践の学び合いを可能とする重層的なネットワークを形成する。
(ネットワーク形成・学び合いの場)

成果目標⑤多様な分野で ESD の認知度が向上し、また理解が進み、多様なステークホルダーの間で経験の共有、ESD 推進の協働・連携の関係性が形成・促進されるような学びの場が持たれている。

評価指標 全国フォーラム参加者アンケート

① 共催・後援・職員派遣

全国各地で開催される ESD 関連催事について、後援名義の承認を行うとともに、広報活動に協力する。地方センター開設以降は、後援名義使用の承認について一元化した手続き方法について地方センターと合意し、全国センターにて、地方センターの後援名義承認についても地方センターとの連携のもとに事務手続きを行っている。

【資料 2_別添 ESD 活動支援センター（全国・地方）後援事業・協力事業一覧】

② 地域 ESD 拠点登録業務

ESD 活動支援企画運営委員会の指導助言及び地方センターとの意見交換等を踏まえ、地域 ESD 拠点について基本的な情報の整理を行った。また地方センターとの役割分担について意見交換し、合意した。

関連する資料は以下のとおり。

- ① 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録要綱（公開）
- ② 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録制度のご案内（公開）
- ③ 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録に関するよくある質問（公開予定・最終化中）
- ④ 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録制度説明資料
- ⑤ 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）事務手続きの流れ

これらをもとに、平成 29 年 11 月から、地域 ESD 拠点登録業務を地方センターとの連携のもとに開始した。

現時点で登録が完了している地域 ESD 拠点は次表のとおり。

表 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録状況（属性別）

（平成 30 年 2 月 6 日現在、カッコ内は本部所在地）

1. 教育関係機関・ネットワーク
羅臼町教育委員会（北海道）
独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大雪青少年交流の家（北海道）
新居浜市教育委員会（愛媛県）
2. 学術研究機関・ネットワーク
北海道教育大学釧路校 ESD 推進センター（北海道）
学校法人日本自然環境専門学校（新潟県）
国立大学法人福岡教育大学（福岡県）
3. 地方自治体・行政
津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ（岡山県）
鹿島市建設環境部 ラムサール条約推進室（佐賀県）
4. 公益法人／NGO／NPO
チャウス自然体験学校（群馬県）
認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ（茨城県）
公益財団法人鼓童文化財団（新潟県）
特定非営利活動法人アースライフネットワーク（静岡県）
一般社団法人日本体験学習研究所（愛知県）
名古屋ユネスコ協会（愛知県）
環境教育ネクストステップ研究会（三重県）
一般社団法人長野県環境保全協会（長野県）
公益財団法人水島地域環境再生財団（岡山県）
5. 企業等
6. その他
近畿 ESD コンソーシアム（奈良県）

③ 地域 ESD 拠点への年次アンケートの作成

ESD 活動支援企画運営委員会の指導助言及び地方センターとの意見交換により、来年度実施する地域 ESD 拠点向け年次アンケート（案）を作成し、平成 29 年度第 2 回 ESD 活動支援企画運営委員会にて指導助言を得て、最終化の予定。

(3) ESD 推進ネットワーク形成に係る可視化ツール等の作成

■平成 29 年度における業務項目

①平成 28 年度にネットワーク可視化ツールについて、可視化ツールを通じて得られた結果の分析を行う。

②地方センター、地域 ESD 拠点を念頭においた広域ブロックでの活用に当たり、全国 2 箇所程度でヒアリングを行う。

③ヒアリングの結果を踏まえて、全国レベルのネットワーク可視化ツールを広域ブロックのネットワークにどう応用するか等の検討を行う。

■ESD 推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

目標 2 現場のニーズを反映した ESD 活動の支援体制を整備する（支援体制）
成果目標③ESD を推進する多様な主体が参画する官民協働プラットフォームとしての ESD 活動支援センター（全国・地方）の整備が進み、ESD 活動に対する支援体制が機能している。

評価指標 ESD 活動支援センター（全国・地方）の活動に多様な主体が参画しているか。

上記に対するデータとして「ネットワーク可視化ツールデータ」があげられている。

(ア) 以下 3 回のネットワーク可視化タスクフォース会議を開催した。

■第 1 回ネットワーク可視化タスクフォース会議

日時：平成 29 年 6 月 1 日（木） 10:00-12:00

会場：EPO ミーティングスペース

（渋谷区神宮前 5 丁目 53-67 コスモス青山 B1 階）

議題

- ・ 座長選出
- 1. 今年度計画、ネットワーク可視化のロードマップについて
- 2. 昨年度のデータ分析
- 3. 地方ヒアリングについて
- 4. その他

■第 2 回ネットワーク可視化タスクフォース会議

日時：平成 29 年 9 月 7 日（木） 10:00-12:00

会場：EPO ミーティングスペース

（渋谷区神宮前 5 丁目 53-67 コスモス青山 B1 階）

議題

1. 全国レベルのネットワーク可視化について
2. 広域レベル・地域レベルでのネットワーク可視化についての考え方およびネットワーク可視化ロードマップについて

3. その他

■第3回ネットワーク可視化タスクフォース会議

日時：平成29年12月13日（水） 10:00-12:00

会場：EPO ミーティングスペース

（渋谷区神宮前5丁目53-67 コスモス青山 B1階）

議題

1. 今年度事業：これまでの振り返りと今後予定
2. 地域ESD拠点年次アンケート、地方センター記入シート（仮）
3. 達成目標について
4. 地方のネットワーク可視化について
5. 全国レベルのネットワーク可視化（今年度運用）
6. その他

- (イ) タスクフォース検討委員およびESD活動支援センタースタッフにより以下2回の地方ヒアリングを行い、ネットワーク可視化を地方に展開する際の期待や留意点等について地方のステークホルダーの意見を聞いた。

高松市 平成29年6月30日～7月1日（協力：四国地方ESD活動支援センター）

参加検討委員：佐藤真久氏

名古屋市 平成30年1月19日（協力：中部地方ESD活動支援センター）

参加検討委員：鈴木佑司氏

- (ウ) 平成28年度に全国レベルのネットワークの可視化に協力した組織・団体を対象に報告・意見交換会を開催した。

■主催 ESD活動支援センター

■日時 平成29年7月6日（木）13:00-15:00

■会場 GEOC セミナースペース

（東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F）

<プログラム>

1. ご挨拶

ESD活動支援センター 阿部 治 センター長

2. 全国レベルのネットワーク可視化ツール 試行結果報告

ESD活動支援センター 柴尾智子 センター次長

3. 可視化ツールの活用と展開の可能性

ネットワーク可視化タスクフォース座長・東京都市大学教授 佐藤真久 氏

4. 意見交換

- (エ) 平成28年度に作成し、11団体・組織の協力を得て試行した全国レベルのネットワーク可視化結果の取りまとめを行っている。

（最終化中）

以下は、3点の可視化ツール試行結果（数字は組織・団体数：重複あり）

可視化ツール① 「つながり」の可視化 【平成28年度試行：協力団体】

連携・協力の形態	組織・団体数	事業協働(プロジェクトベース、時限有)										戦略協働(中長期的視野)		
		情報提供・文脈	施設・資材貸与	広報協力	マネジメント支援	事業協力	後援	共催	資金補助・委託	共同企画立案	実行委員会・協議会	戦略協働	政策協働	
1.教育関係機関・ネットワーク	2	1		1			2							
2.学術研究機関・ネットワーク	1	1		1										
3.地方自治体・行政	0													
4.公益法人/NGO/NPO	8	8		6		1	4			1				
5.企業等	0													
6.その他	0													

出現数 色分け 1～3 4～6 7～

可視化ツール② 「取り組み」の可視化 【平成28年度試行：協力団体】

SDGs (05)	GAP (06)	組織・団体数	貧困をなくす	飢餓をなくす	健康と福祉	質の高い教育	ジェンダー平等	水と衛生	誰もが使えるクリーンエネルギー	ディーセントワークと経済成長	産業・技術革新・社会基盤	格差の是正	持続可能なまちづくり	持続可能な消費と生産	気候変動へのアクション	海洋資源	陸上資源	平和・正義・有効な制度	目標達成に向けたパートナーシップ	その他
			1	2	3	1	3	10	0	2	1	0	0	1	1	5	4	4	2	2
政策的支援 (ESDに関する政策的支援)	3			1	3									1				1	2	
機関包括型アプローチ (ESDへの包括的取組)	1													1	1				1	
教育者 (ESDを実践する教育者の育成)	8	2	1	2	8		2	1					4	3	3	2	2	2	5	
ユース (ESDへの若者への参加の支援)	1	1	1		1		1	1					1	1	1	1	1		1	
地域コミュニティ (ESDへの地域コミュニティの参加の促進)	4	2	1	1	4		1	1			1		2	1	1	1	1	1	3	

コメント 教育は全ての目標に関係するもの。

出現数 色分け 1～3 4～6 7～

可視化ツール③ 「支援メニュー」の可視化 【平成28年度試行：協力団体】

支援方法	組織・団体数	調音・情報収集	活動展示・紹介	施設・資材貸与	活動奨励	共同企画・実施	政策コミュニケーション	広報協力実施	コーディネーション	ファシリテーション	情報提供	資源提供	機会提供	相談対応・助言(活動)	問題解決策の提示	相談対応・助言(組織)	その他
		7	4	0	9	7	4	10	5	6	6	5	7	7	7	5	2
1教育関係機関・ネットワーク	2	2	1		1	1		2		1	0		0	1			
2学術研究機関・ネットワーク	1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
3地方自治体・行政	0																
4公益法人/NGO/NPO等	8	5	3		7	5	3	7	4	4	5	4	6	5	4	2	
5企業等	0																
6その他	0																

出現数 色分け 1～3 4～6 7～

6. 年次報告書の作成

平成 29 年度の活動を取りまとめ、「ESD 活動支援センター活動レポート 2017」（A4、32 ページ、カラー、3,000 部）を作成し、ESD 関係者 200 件に配布するとともに、8 箇所の地方 ESD 活動支援センターに各 200 部ずつ配布。（予定）

平成 29 年度 ESD 推進ネットワーク事務等関係資料一覧

1. ESD 推進ネットワーク全体に関わる資料
 - ① ESD 推進ネットワークの構築に向けて」解説資料（平成 28 年度最終化）
 - ② ESD 推進ネットワークの目標等（平成 28 年度最終化）
 - ③ ESD 推進ネットワークの達成目標等（最終化中）

2. 地方センターウェブサイト等運用に関わる資料
 - ① 地方 ESD 活動支援センターウェブサイト_ウェブサイト運用マニュアル
 - ② 地方 ESD 活動支援センターウェブサイト_「トップページ」用記入表
 - ③ 地方 ESD 活動支援センターウェブサイト_「私たちについて」原稿作成用テンプレート
 - ④ 地方 ESD 活動支援センターウェブサイト_日々の掲載記事の原稿作成用テンプレート

3. 地域 ESD 活動推進拠点登録に関する資料
 - ① 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録要綱（公開）
 - ② 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録制度のご案内（公開）
 - ③ 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録に関するよくある質問（公開予定・最終化中）
 - ④ 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録制度説明資料
 - ⑤ 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）事務手続きの流れ

4. 後援名義使用承認に関する資料
 - ① ESD 活動支援センター（全国・地方）後援名義等使用承認規程（公開予定）
 - ② 後援名義等の使用の承認に関する当面の ESD 活動支援センター（全国・地方）間の役割分担の考え方

5. ロゴマークについての関連資料
 - ① ESD 活動支援センター（全国・地方）ロゴマーク使用規程
 - ② ESD 活動支援センター（全国・地方）ロゴマーク使用規程マニュアル
 - ③ 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）ロゴマーク使用規程
 - ④ 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）ロゴマーク使用マニュアル